

令和 5 年(2023 年)第 2 回 登録標識・路面標示基幹技能者講習(路面標示) 修了試験問題

修了試験実施日：令和5年(2023年)11月10日

修了試験実施場所：富士教育訓練センター

登録基幹技能者講習実施機関：一般社団法人全国道路標識・標示業協会

注意事項

- ① 携帯電話は電源を切り、カバンの中に入れてください。
- ② 試験問題は係員の指示があるまで開けないでください。
- ③ 解答用紙に受講番号と氏名を明記してください。
- ④ 正解と思う番号を解答用紙に記入してください。
- ⑤ 試験開始から30分が経過するまで及び試験終了10分前から終了時刻までは退出することができません。
- ⑥ 質問、体調不良、退室希望等は静かに挙手をしてください。
- ⑦ 試験問題は終了後に持ち帰ることができます。
- ⑧ 試験終了の合図があったら筆記用具を置き係員の指示に従ってください。
- ⑨ 解答は試験終了後約1週間後に全標協ホームページに掲載します。
- ⑩ 合格発表は令和5年(2023年)12月8日に全標協ホームページに掲載します。

一般社団法人全国道路標識・標示業協会

【基幹技能者一般知識】

問 1

登録基幹技能者の活用に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 登録基幹技能者は、主任技術者の要件のひとつとして認められている。
- ② 登録基幹技能者は、監理技術者として認められている。
- ③ 総合評価落札方式における施工能力の評価として登録基幹技能者の活用が示された。
- ④ 登録基幹技能者は、災害対応を含む地域維持の担い手として認められている。

問 2

建設キャリアアップシステム(以下 CCUS という)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① CCUS 情報を活用した能力評価と、レベルごとの年収目安の明確化による賃金水準の相場形成が可能になる。
- ② 現場や勤務先が変わっても、自らの能力を客観的に証明することが可能である。
- ③ 能力評価基準により専門工事企業の施工能力をレベル分けすることができる。
- ④ 出面管理の IT 化、賃金や代金支払いの根拠が明確化できる。

問 3

登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 十分な経験を有し、出来上がりの検査、工事の是正ができる。
- ② 現場をまとめ、技術者、他の職長との調整能力を有する。
- ③ 安全管理に係る基本的な知識を有し、法定点検を効率的に行うことができる。
- ④ 原価管理に係る基本的な知識を有し、常にコスト意識をもって行動することができる。

問 4

OJTに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① OJT は日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育のことである。
- ② OJT では部下の能力レベルに合わせた目標を立てることが大切である。
- ③ OJT 実施時は外部との接触の機会を提供し、視野を拡大する機会を設ける。
- ④ OJT の目標は設定期間終了時に評価が可能なことである。

問 5

元請負人が下請負人に見積させる期間に関する次の記述のうち、建設業法上違反となるものはどれか

- ① 予定価格が 500 万円に満たない工事について、1 日として見積させた。
- ② 予定価格が 700 万円の工事について、3 日として見積させた。
- ③ 予定価格が 1,500 万円の工事について、11 日として見積させた。
- ④ 予定価格が 6,000 万円の工事について、16 日として見積させた。

問 6

労働災害に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 工事現場等で事故防止策を講じるのは事業者の義務である。
- ② 重要な労働災害を発生させた場合、公共工事における競争参加資格停止や営業停止処分が課せられる。
- ③ 作業者の過失によって他人を被災させた場合、雇用主が問われるのは使用者責任である。
- ④ 両罰規定とは、業務上過失致死傷罪と労働安全衛生法違反による罰則のことである。

問 7

道路法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 道路管理者は、道路の構造を保全し、又は交通の安全と円滑を図るため、必要な場所に道路標識又は区画線を設けなければならない。
- ② 道路管理者は、交通が危険であると認められる場合、区間を定めて、道路の通行を禁止し、又は制限することができる。
- ③ 都道府県道又は市町村道に設ける横断歩道の寸法は、当該地方公共団体が条例で定める。
- ④ 道路施設の点検は、必要な知識及び技能を有する者が行うこととし、近接目視により5年ごとに行うことを基本とする。

問 8

道路交通法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 公安委員会は、道路における振動を防止するため、交通の規制をすることができる。
- ② 公安委員会は、道路運送法の自動車道において、交通の規制をすることができない。
- ③ 公安委員会は、遠隔操作型小型車について、交通の規制をすることができる。
- ④ 交通巡視員は、手信号等により、警察官同様、交通整理を行なうことができる。

問 9

標識令に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 平成 4 年の改正では、横断歩道の側線の無い標示が追加され、同時に道路鋏による標示は削除された。
- ② 平成 24 年に規制標示「普通自転車歩道通行可(114の2)」を新設することで自転車の記号のみで自転車が歩道を通行できることとした。
- ③ 平成 26 年の改正で「方面及び方向(108の2-A)」標識の色彩の特例で、矢印について国道は赤色、県道は緑色又は黄色で標示することとなった。
- ④ 令和 2 年の改正で、「歩行者横断禁止(332)」を表示する文字に「横断禁止」の文字に代えて「わたるな」を用いることが可能となった。

問 10

標識令に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 令和 2 年、特定車両の停留施設が道路の附属物として設置できることになり、「許可車両専用(325の5-A・B・C)」標識が追加された。
- ② 令和 4 年、歩行者を対象とする交通規制に遠隔操作型小型車が追加されたため、「歩行者専用(325の4)」が「歩行者等専用(325の4)」に変更となった。
- ③ 令和 4 年、電動キックボード等が特定小型原動機付自転車として認定され、車道通行を原則とすることとなった。
- ④ 令和 5 年、指示標示「普通自転車歩道通行可(114の2)」は「特定小型原動機付自転車・普通自転車歩道通行可(114の2)」に変更となった。

問 11

道路の移動等円滑化に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① すべての人にとって使いやすいユニバーサルデザインの考え方に配慮して道路整備することが望ましい。
- ② 特定道路とは、重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路等で、国土交通大臣がその路線及び区間を指定したものである。
- ③ 道路管理者と都道府県公安委員会が連携しながら、最高速度 30km/h の区域規制と物理的デバイスとの組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン 30 プラス」として設定し、令和 4 年度末までに全国で 4,288 か所を整備した。
- ④ 障害者用駐車施設の数、駐車台数が 200 以下の場合は 50 分の 1 以上設けるものとする。

【施工管理・環境保全対策・作業計画・工程管理】

問 12

施工計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 施工計画を立案するには、工事請負契約書、設計図書などが最優先となるので、現場調査は必要に応じて行う。
- ② 施工計画の作成では、発注者の要求する品質を確保するとともに、安全を最優先とした施工を基本とする。
- ③ 基本計画は、主要工種の施工法や施工手順について技術面及び経済面から比較検討を行って計画を作成する。
- ④ 施工計画は、契約条件や仕様書、設計図書に基づく社会的制約の中で、品質、原価、工程、安全、環境保全に対する管理方法を総合的に計画したものである。

問 13

環境保全に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 建設現場の3Rとは、リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)である。最近では、リヒューズ(Refuse:ごみを出さない)を入れた4Rもある。
- ② 平成29年度の産業廃棄物の総量は約3億8,564万トンであり、建設業がいちばん多い。
- ③ 切盛土面からの濁水対策は、降雨時の作業中止、切盛土面の最小化、切盛土の早期被覆、清濁分離及び浄化处理等が有効である。
- ④ 建設リサイクル法では、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体又は新築工事等で、一定規模以上の対象建設工事受注者は分別解体等及び再資源化等を行うこととしている。

問 14

作業計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 施工要領書には、設計図に明示されていないもの、もしくは各種の事情により明示しにくいものについては、現場条件を考慮して検討し明示する。
- ② 施工要領書は、「安全に」「良いものを」「工期内に」「低コストで」を検討して作成する。
- ③ 段階法による作業手順書の作成は、以下のとおりである。
 - 1.作業を決める
 - 2.作業内容を分解し、主なステップを決める
 - 3.主なステップを検討し良い順序と急所を決める
 - 4.作成された作業手順を評価・確認する
- ④ 作業手順書は責任者が作業手順を徹底的に書き込み自ら実践するためのものである。

問 15

工程管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 工程表の種類は、バーチャート工程表、ガントチャート工程表、斜線式工程表、グラフ式工程表、出来高累計曲線(S字式カーブ)及びネットワーク式工程表がある。
- ② 工程表の作成は、施工方法の選定、投入労務量、使用機械設備、作業可能日数、1日平均施工量、所要作業日数の算定から最適な工期を決定する。
- ③ ガントチャート工程表は、縦軸に工事工種、横軸に工期(日数)をとった工程表であり、作業の流れが左から右に移行するので初心者にもわかりやすい。
- ④ 労務の平準化とは、作業の余裕期間を有効活用し、全体工程に遅れが出ない範囲で作業日を割り振って日々の作業員を均等にすることで、山積み・山崩しという。

【原価管理】

問 16

原価管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 実行予算は、現場条件に合った具体的な施工計画を作成し、その工事を実行するのに必要な費用をできるだけ精密に予測・算出したものである。
- ② 土工事の見積では、土量は縦×横×深さで、土の積込み土量を計算するが、土量の変化率は留意する必要はない。
- ③ 原価管理では、まず元請対応が重要であり、契約した工事がスムーズにいくように、先を見通して元請と打ち合わせを行う。
- ④ 原価要素は、建設工事では、材料費、労務費、経費及び外注費の4要素に分類するのが一般的である。

問 17

品質管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 品質管理計画の作成は、まず元請負人が要求する品質を的確に把握することが重要である。
- ② 建設物は一品生産で個別性が強く、評価の対象となる特性は多様である。
- ③ 現在の品質という用語の ISO 規格は「本来備わっている特性の集まりが、要求条件を満たす程度」という定義に改められている。
- ④ 出来形管理は、工事目的物が設計図書に示された形状、寸法を十分満足し、無欠陥で高い信頼度のものを完成させる管理である。

問 18

品質管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 品質保証とは、発注者の要求する品質が十分満たされていることを保証するための体系的活動を指すものである。
- ② 品質の問題は、いろいろな要素が複雑に絡み合っていることから、品質を向上させるために関係者が集まってブレインストーミングを実施することもある。
- ③ パレート図とは、品質問題の要因について発生度数の高い順位に並べ、それぞれの頻度をヒストグラムで、その累積の発生頻度を折れ線グラフで表現した図である。
- ④ 日本の高品質の源は、トップダウン(発注者・建設コンサルタンツの提案採用)による品質改善活動によるところが大きい。

問 19

安全管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 労働災害関連用語における度数率とは、10万延労働時間当たりの労働災害による死傷者数である。
- ② 労働災害関連用語における強度率とは、1,000延実労働時間当たりの労働損失日数をもって、災害の重篤度を表したものである。
- ③ 高さや深さが1.5mを超える場所は、昇降設備を使って昇り降りしなければならない。
- ④ 可燃性の粉塵や火薬等があり、爆破、火災のおそれのある場所では、発火源となる機械、火気の使用は厳禁である。

問 20

安全管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 労働災害とは、建設物、設備、原材料等により、又は、作業行動その他業務に起因して作業員が負傷し、疾病にかかり、又は死亡することである。
- ② 労働災害対策を講じるには、ヒューマンエラーを踏まえ、さまざまな人間の特性を知る必要がある。
- ③ 外国人労働者のための安全衛生教育等点検の内容は
1.作業手順の理解 3.標識・掲示の理解
2.指示・合図の理解 4.免許・資格の所持
の4項目である。
- ④ リスクアセスメントを実施する時期は、足場や機械設備などの設置・変更時、作業標準や作業手順などの作成・変更時などである。

【路面標示の設置】

問 21

路面標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 路面標示は大別して区画線と道路標示からなり、区画線は主として道路管理者が、道路標示は都道府県公安委員会がそれぞれ設置する。
- ② 路面標示の設置の根拠は「道路法」及び「道路交通法」などに規定されている。
- ③ 路面標示は、区画線では白色のみ、道路標示では黄色のみが用いられている。
- ④ 路面標示は、一定の様式化された線及び文字、記号を路面に設置することにより、交通の安全と円滑を確保し、併せて道路構造物等の保全を図るために設けることを目的としている。

問 22

路面標示の種類に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「転回禁止(101)」は、規制標示である。
- ② 「平行駐車(112)」は、区画線である。
- ③ 「車両通行区分(109の3)」は規制標示である。
- ④ 「歩行者横断指導線(104)」は区画線である。

問 23

路面標示の設置計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「車線境界線(102)」を設置する場合の原則の一つは、片側1車線には設置しないことである。
- ② 車線幅員は、2.75m、3.00m、3.25m、3.50mの4段階と定めている。
- ③ 「車道中央線(101)」を設置する場合、車線が3車線以上の道路、横断歩道の手前30m及び追越し禁止が望ましい場所には実線で表示する。
- ④ 「車道外側線(103)」の車線幅員のとり方は、車道外側線の車道内の外側の縁から車道境界線設置位置の中心までとする。

問 24

路面標示の設置計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 横断歩道がなく信号制御されている場合の停止線の位置は、右左折の通行を妨害しない範囲でなるべく後ろに設置する。
- ② 「横断歩道(201)」は、バス停留所付近では、利用者の利便性を考慮して、なるべく直前又は直後には設置しない。
- ③ 右折車線の幅員は、標準で2.75m～3.25mであるが、特例として大型車が極めて少ない場合は2.5mまで変更できる。
- ④ 「車道外側線(103)」は原則としてすべての道路に設置する。ただし、最小車道幅員は3.0mとする。

問 25

区画線に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「歩行者横断指導線(104)」は、実線又は道路鋏等により表示する。
- ② 「車道中央線(101)」(実線 2 本)の実線間隔は、0.10m～0.15m である。
- ③ 「車道中央線(101)」(破線)の幅は標識令の規定は、0.12m～0.15m である。
- ④ 「路上障害物の接近(106)」を表示する場合は、路上障害物の長さ(d)より片側最低 20cm 両側最低 40cm 長い値として設置するのが望ましい。

問 26

道路標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「路側帯(108)」の幅は線の内側から路端までとする。幅員は、原則として 1.5m 以上とする。
- ② 「追い越しのための右側部分はみ出し通行禁止(102)」は、両側とも規制をする場合と、片側のみを規制する場合がある。
- ③ 「普通自転車の交差点進入禁止(114 の 4)」を設置する場合は、道路標識の定めがないため、道路標示のみを設置している。
- ④ 「環状交差点における左折等の方法(111 の 2)」は、道路標識と併せて道路標示も必ず設置する。

問 27

道路標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「安全地帯(207)」は標準規格が指定されており、白色で表示する。
- ② 「斜め横断可(201の2)」は、歩行者がスクランブル信号制御交差点において斜めに横断できることを指定した場所に設置する。
- ③ 一度に渡りきるべき横断歩道の長さは、最大で15m程度とすることが望ましい。15mを超える場合は、横断歩道の中に安全地帯を設けることが望ましい。
- ④ 「横断歩道(201)」の幅員は、原則として4m以上とする。ただし、歩道のない幅員の狭い道路で横断歩行者の少ない場所では3mを限度とする。

【路面標示の材料・施工】

問 28

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 2種 A(加熱)塗料は40℃～60℃に加熱して粘度を下げ路面に吹き付け塗装する。
- ② 1種 B(常温)塗料は水の揮発に続いて造膜助剤の作用によって塗膜が乾燥硬化する。
- ③ 3種(熔融)塗料は1種(常温)、2種(加熱)塗料と異なり、溶剤を含まないため、速乾性である。
- ④ 3種(熔融)塗料は塗料が常温に戻るにより路面に固着する。

問 29

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 1種 A(常温)塗料の低温安定性試験は塗膜の水分による膨れ、割れ、剥がれ、しわ、色の変化などに対する試験である。
- ② 1種 A(常温)塗料のガラスビーズ固着率は 90%以上である。
- ③ 1種 B(常温)塗料のタイヤ付着性試験は、15 分後にタイヤに付着しないことと規定されている。
- ④ 1種 B(常温)塗料の密度(23℃)は 1.3g/cm³以上である。

問 30

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 2種 A(加熱)塗料の加熱残分は、揮発成分を除いた残分、すなわち塗膜形成成分である樹脂、顔料、添加剤などの量と揮発成分との配合の割合で判定する。
- ② 2種 A(加熱)塗料の耐摩耗性(100 回転当たりの摩耗減量 mg)は 500 以下でなければならない。
- ③ 2種 B(加熱)塗料の隠ぺい率(%)は、白色が 97 以上、黄色は 80 以上と規定されている。
- ④ 2種 B(加熱)塗料を低温時に塗装した場合、塗膜形成が十分に起こらず設計された塗膜性能が十分に得られないことがある。

問 31

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 3種(熔融)黄色塗料は、警察庁指定の道路標示黄色(※)によるものとされている。(※マンセル参考値 5.5YR6.5/12)
- ② 3種(熔融)塗料の黄色度は、黄色塗料の熔融加熱時における変色度合いを判定する基準になる。
- ③ 3種(熔融)塗料の軟化点は、80℃以上である。
- ④ 3種1号(熔融)塗料のガラスビーズ含有量は15%～18%(質量分率)である。

問 32

路面標示用ガラスビーズ(JIS R 3301:2014)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 耐水性の低いガラスビーズは表面に曇りが生じやすく、再帰反射効果に影響を与える。
- ② 路面標示用ガラスビーズの外観は、球形の粒子であり、だ円、鋭角、不透明、異物等の混入率は、20%以下と規定されている。
- ③ ガラスビーズのひ素含有量は200mg/kg以下でなければならない。
- ④ 高屈折率ガラスビーズの屈折率が2.0以上になると、乾燥時に再帰反射性能が向上する。

問 33

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)の施工に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① エアレススプレー方式は圧縮空気のかで塗料を微粒化し噴射空気により路面に吹き付けて塗装する。
- ② 1種(常温)、2種(加熱)の溶剤系塗料の保管については、危険物第4類第1石油類に分類され、指定数量が200リットルと規定されている。
- ③ 常温式工法では一般に原液で塗装するが、使用機械や気温などの影響から原液で施工できない場合は溶媒で希釈する。
- ④ 常温・加熱式工法では塗料及びガラスビーズの圧力、塗料温度、ラインマーカーの走行速度によって標示の品質が決まる。

問 34

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)の施工に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 溶融式工法では、道路に塗装した後約10分以内に交通開放できる速乾性を要求される。
- ② 溶融式工法では熱劣化によって軟化点上昇、圧縮強度上昇、耐侯性低下や接着力低下など品質性能に影響を与える。
- ③ 3種(溶融)スリット式の塗膜厚は、1～2.5mm程度まで塗装可能であるが、標準は1.5mmである。
- ④ 噴射式・フローコーター式はスリット式と異なり路面の凹凸に対しても均一な厚さに塗装できる。

問 35

路面標示の点検・塗り替えに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 点検の第一の目的は、管理する路面標示の変状を早期に発見することであり、第二の目的は、変状の程度の把握を行うことである。
- ② 夜間の視認性を確保する必要があるところでは、塗り替えの際、ガラスビーズが多く混入された塗料又は高視認性路面標示材料を採用するのがよい。
- ③ 路面標示の点検項目として、剥離、汚れなどによる滑り止め効果測定などがある。
- ④ 全国の道路総延長は膨大な量となっており、路面標示の点検には多大な費用と時間を要する。

問 36

路面標示の塗り替え基準に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 夜間の視認性はミロラックス 7 を使用して測定し、白色の反射輝度値は $100\text{mcd}/\text{m}^2\cdot\text{lx}$ を超える平均値が必要とされている。
- ② 反射輝度を同条件で測定した場合、黄色の反射輝度値は、白色と同程度になっている。
- ③ 剥離率の測定は、摩耗、剥離、劣化等による塗膜の欠損部分の割合を、全体画像から測定する。
- ④ 熔融型の路面標示で舗装路面が露出している場合は、路面の不陸(凹凸)を考慮しても 1mm 前後は摩耗していることになる。

問 37

路面標示の耐久性調査に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 調査は、様々な交通量の道路で路面標示の摩耗を定点観測する。
- ② 調査項目としては、交通量による摩耗度の違い、舗装種別による違い、大型車混入率による違い、気象条件や積雪による影響などがある。
- ③ 路面標示の調査技術は、撮影や解析技術等の進歩により様々な手法が開発され、作業員が安全で効率的に、かつ定量的に調査が行える技術開発が始まっている。
- ④ 密粒舗装と排水性舗装の摩耗度の変化は、排水性舗装の方が摩耗の進みが遅い傾向にある。

問 38

路面標示の消去に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 路面標示の消去は時間に限りがあるため一番早く消去できる工法を選択する。
- ② 物理的消去として、路面標示用塗料処理法、切削法、ブラスト法及び水圧(ウォータージェット)法等がある。
- ③ 化学的消去のうち燃焼法は、塗装直後であればよいが、一般に路面を痛めるため適さない。
- ④ 消去する際に発生する砂塵等は全て回収する。

問 39

法定外表示等の設置に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 新たな法定外表示を考案、設置する場合には、一見してその意味が理解できるものであり、かつ、標識令等の様式と類似の形態(図柄等)としてはならない。
- ② 法定外表示には、「統一を図る法定外表示」、「標準仕様を定める法定外表示」、「標準運用を定めるカラー舗装」、「その他の法定外表示」等がある。
- ③ 「ハンプ路面表示」は、車両進行方向のハンプすりつけ部に配置することとし、相互通行道路では車線の中央寄りに路面表示を設置する。
- ④ 標準運用を定めるカラー舗装には、バスレーン関係や歩行者等保護のためのカラー舗装があり、原則として色は市区町村ごとに統一する。

問 40

法定外表示等の設置に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「減速を促す路面表示」は、減速を要する区間及びその手前に設置し、効果を高めたい場合は、減速理由についての文字表示を設置することができる。
- ② 「普通自転車等専用通行帯以外の自転車通行空間路面表示等」を設置する場合、自転車のピクトグラムは青色、矢羽根型路面表示は白色とする。
- ③ 特定小型原動機付自転車、特例特定小型原動機付自転車の通行が禁止される道路で注意喚起が必要な場合には、通行を禁止する看板を設置する。
- ④ 「ドットライン表示」は、優先関係が明確でない交差点部には設置しない。

登録標識・路面標示基幹技能者講習 解答用紙

2023-2路面標示

受講番号

氏名

共通は標識にリンク

【基幹技能者一般知識】

1	2	3	4
2	3	3	1

【建設業法・安衛法】

5	6
2	4

【道路法・道路交通法】

7	8
3	2

_____/8

【標識令改正】

9	10	11
3	4	3

【施工管理・環境保全対策・作業計画・工程管理】

12	13	14	15
1	2	4	3

_____/7

【原価管理】

16
2

【品質管理】

17	18
1	4

【安全管理】

19	20
1	3

_____/5

共通 合計
_____/20

【路面標示の設置】

21	22	23	24	25	26	27
3	2	4	1	4	4	1

_____/7

【道路標示の材料・施工】

28	29	30	31	32	33	34
2	1	4	2	4	1	1

_____/7

【路面標示の維持管理・塗り替え基準】

35	36	37	38
3	2	4	1

【法定外表示の設置等】

39	40
3	2

_____/6

専門 合計
_____/20

総合計 _____/40